

あきづき

登録番号：第9401号

登録年月日：平成13年10月18日

登録者：独立行政法人 農業技術研究機構
(茨城県つくば市観音台三丁目1番地1)

育成者：町田 裕 壽 和夫 佐藤義彦
阿部和幸 栗原昭夫 緒方達志
齋藤寿広 寺井理治 西端豊英

小園照雄 福田博之 木原武士

鈴木勝征

来歴：「162-29」(新高×豊水)と
「幸水」の交雑実生

育成地：独立行政法人 農業技術研究機構
構果樹研究所(茨城県つくば市
藤本2番1)

特性

■栽培特性

樹勢は強い。枝梢は密に発生し、長さは中程度で太い。短果枝の着生は中程度であり、腋花芽の着生は場所によって差が見られるが少から中程度である。葉身は卵形で大きさは中程度、葉柄は長さ太さともに中程度である。どん葉は赤褐色を呈し、毛じは少ない。

開花直前の花色は白、花弁の数は多く、1花そうの花数は中程度である。雄ずいの数はやや多く、葯の色は淡紅色を呈し、花粉の量は豊富である。開花期は遅く、「幸水」と同時期である。S遺伝子型はS₃S₄であり、「筑水」と交配不適合性を示すが、他の主要品種とは和合性である。成熟期はつくば市で9月下旬で「豊水」より遅いが「新高」よりは早く収穫される。

■果実特性

果実は扁円形で黄赤褐色を呈する赤ナシであり、中程度の大きさの果点が密に分布する。大きさは500g程度で、「豊水」より大きい、「新高」ほどの大果にはならない。果梗の長さ、太さともに中位で、肉梗はほとんど発生しない。果心は短紡錘形を呈し、大きさは中程度、心室数は平均で5室以上あるが「幸水」ほど多くはない。ほとんどの果実にへたが残る。果肉硬度は4ポンド前後で「豊水」と同程度に軟らかく緻密で多汁である。糖度は12%前後で「豊水」程度の甘味を示し、果汁pHは4.9程度で「幸水」と「豊水」の中間の値でわずかに酸味を感じる。渋味はなく、香気は少ない。食味は酸味が少ない分「豊水」より安定しており、より優れているとの評価が少なくない。日持ち性は25℃で14日程度品質が保持されるので、この時期に収穫される品種としては平均的である。収穫前落果は少なく、心腐れ、みつ症および裂果といった生理障害の発生はほとんど見られない。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

黒斑病には抵抗性で、黒星病に対しては慣行の防除で対応できる。えそ斑点病に関しては病徴非発現性である。また、特に問題となる虫害も報告されていない。

短果枝の着生は中程度であるがその維持は容易ではない。腋花芽の着生は場所によってばらつきはあるものの少ないほうなので、花芽の確保には生育期間中の新梢誘引等の工夫が必要である。ほとんどの果実にへたが残るが、へたのない果実との間に品質の差は認められないことから、有ていであるということは品種本来の特性であると考えられる。

■地域適応性

収穫期が「豊水」より遅いやや晩生の品種であるが、系統適応性検定試験の結果では東北地方においても「豊水」と同程度かそれ以上の成績を示していることから、わが国のナシ栽培地域全域でその特性を發揮できると考えられ、「豊水」と「新高」の間をつなぐ品種として普及が期待される。
(斉藤寿広)